

事務事業名		児童センター運営事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	子ども部
総合計画体系	基本政策	1	未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり	課・室	子育て課
	政策	02	子育て支援の推進	係	青少年未来係
	施策	01	子育て支援策の充実	内線電話	357
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	3款	民生費	未計上	
	項	2項	児童福祉費	実施期間	
	目	2目	放課後児童対策費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	中野市内に住所がある児童	児童の健康を増進し、情操を豊かにする。	
現状・課題	核家族化や保護者の就業が増加したことにより登録児童数も増加している。また、児童の個性にあった支援が必要なため支援員の更なる資質の向上が求められる。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市児童センター条例	
事務事業概要	健全な遊び場の提供、児童への個別的集団的な支援、放課後児童の育成。		
令和2年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	中野児童センターの運営		開館日 293日
	平野児童センターの運営		開館日 293日

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	8,658,000	8,708,000
補正・流用等		円	6,000	7,000	—	
合計		円	8,664,000	8,715,000	8,614,000	
決算（見込）額 A			円	7,572,676	8,715,000	—
財源内訳	国庫支出金		円	57,000	17,000	25,000
	県支出金		円	57,000	17,000	25,000
	市債		円			
	その他特定財源		円			
R2は予算額	一般財源		円	7,458,676	8,681,000	8,564,000
正規職員数			人	0.37	0.37	0.37
人件費 B			円	2,380,580	2,383,540	2,383,540
総事業費 A+B			円	9,953,256	11,098,540	10,997,540
市民1人当たりコスト			円	233	261	259

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
利用希望受入れ割合		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	100.0	%	100.0	%	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	利用希望した児童がすべて利用できるようにするため。								

令和2年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	支援員の質の向上を目指し安心安全な居場所を確保する。						

